

スチーム式加湿器 BIM-SHM60A(W) 取扱説明書

保証書付



も く じ

ご使用前の確認	P1
安全上のご注意	P2～5
ご使用にあたっての注意とお願い①	P6
ご使用にあたっての注意とお願い②	P7
使用時に起こる現象	P8
各部名称	P9
水タンク内側の印字について	P10
使いかた(給水をする)	P11
使いかた(運転をする)	P12～13
お手入れのしかた	P14～16
故障かな?と思ったら	P17
製品仕様	P18
保証書	裏表紙

この度は本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みになり、内容に従って正しくお使いください。また、お読みになった後も本書を大切に保管してください。

- 仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。
- イラストと実物の形状が異なる場合があります。

ご使用前の確認

- 製品輸送などによる破損の可能性もあるため、ご使用前には影響の出ない場所に設置し、水を入れた動作確認を必ずおこなってください。
- 本製品は、水をヒーターで加熱し、発生した蒸気で加湿する〔スチーム式〕の加湿器です。
ご使用時には以下のことを必ずお守りください。

注意とお願い

- 1 周辺にテレビなどの電気製品、時計、パソコン、携帯電話などの精密機器を置かないでください。
 - 2 設置場所に関して蒸気や不測の水漏れなどで、影響を受けやすい場所（畳、無垢の材質、水で変形・変色をしてしまう床など）でのご使用はおやめください。
 - 3 取扱説明書を確認のうえ、ご使用後は必ず毎回お手入れをおこない、製品に異常がないかを確認してください。
- 上記の注意・使用方法が守られずに発生した損害については、弊社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。内容をよく理解して記載事項をお守りください。



警告

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。

絵表示の例



記号は、「禁止」(しないでください)を示します。



記号は、「強制」(必ずしてください)を示します。

■安全にご使用いただくために

- ①取扱説明書に記載されていない方法や、用途以外の目的でのご使用は、事故やけがの原因になります。絶対におやめください。
- ②お客様の不注意による破損・けがに対する責任は負いかねますのでご了承ください。
- ③故障していたり、故障と思われる場合は、ご使用にならないでください。
- ④取扱説明書のガイドライン、指示が守られない場合は、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ⑤本製品はおもちゃではありません。お子様のご使用は避けてください。



警告



分解禁止

絶対に改造・分解・修理をおこなわない

●火災・感電・けがの原因になります。

※修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

業務用には使用しない

使用目的以外や屋外で使用しない

**日本国内専用
一般家庭用**

AC100Vのコンセントを単独で使用する

他の機器との併用や、たこ足配線はしない

●過熱による発火・火災・感電の原因になります。



禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない

●たこ足配線などで定格を超えると発熱し、発火・感電の原因になります。

傷んだ電源プラグやゆるんだコンセントは使わない

●感電・故障・発熱・発火のおそれがあります。

電源コードを束ねたり、引っぱったり、無理に曲げたり、ねじったり、重い物をのせたり、加工したり、はさみ込んだり、傷付けたり、高温部に近づけたりしない

●傷んだまま使用すると、感電・故障・火災の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグに触ったり、電源プラグの抜き差しをしたりしない

●感電・けがのおそれがあります。

警告



水ぬれ禁止

本体に水をかけたり、水に浸けたり、丸洗いは絶対にしない
水回り、風呂場など湿気のある場所では使用しない

- 本体の蒸気吹出口や通気口に水が入ると、ショート・感電・故障の原因になります。



プラグを抜く

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く

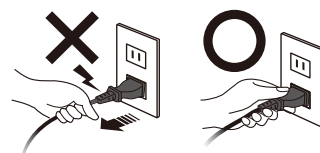
- 誤って作動してけがをしたり、感電の原因になります。

使用時以外や長期間使用しないときは、必ず電源プラグを
コンセントから抜く

- 絶縁劣化による感電・けが・やけど・漏電火災の原因になります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを
引っぱらずに電源プラグ部分を持って抜く

- コードが破損して感電・火災の原因になります。



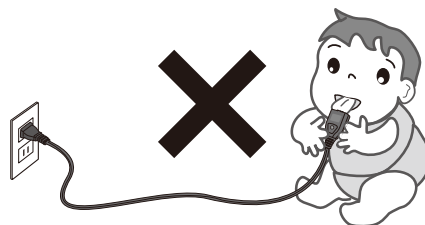
子どもだけで使用させたり、乳幼児の手の届く所での使用や
設置・保管はしない

おもちゃとして絶対に使わせない

- 事故などの原因になり大変危険です。

マグネットプラグをなめさせない

- 乳幼児が誤って口に入れると、
感電・けがの原因になります。



転倒すると熱湯がこぼれるため、子どもの近くや不安定な場所で
使用しない

- やけどのおそれがあります。



禁止

使用中や使用直後は、蒸気口に手や顔を近づけない。

- やけどのおそれがあります。

使用中や使用後しばらくは、フタ着脱つまみ・チャイルドロック
は高温になるので触らない。

- フタの開閉や蒸気口カバーの着脱は、本体が完全に冷めてから
おこなってください。

フタを外したままや、ロックされていないままで運転をしない

- やけどの原因になります。
- ふたが確実に閉まっていないと、転倒時にふたが開き熱湯が流れ出し危険です。

蒸気吹出口やすき間にピン・針金など異物を入れない

- 感電・異常動作によりけがの原因になります。

警告



禁止

直射日光の当たる場所や、高温になる場所に放置しない

●故障・色あせ、熱による変形の原因になります。

マグネットプラグにピンなどの金属物やゴミを付着させない

●感電・ショート・火災の原因になります。

使用中や使用後しばらくは本体を持ち運ばない

●やけどの原因になります。

蒸気口や通気口をふさがない

●破損や動作不良・故障の原因になります。

異常・故障時には、ただちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く

●そのまま使用すると、発煙・火災・感電・けがの原因になります。

【異常例】・水漏れする

・焦げくさいにおいがする

・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる

※修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

移動時は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、水を捨てる

●床ぬれや、けがの原因になります。

●下部の取っ手をしっかり持ち、滑らないようにしてください。



必ず守る

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

●感電・ショート・発火のおそれがあります。

電源プラグのゴミやほこりは定期的に取り除く

●湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

排水は必ず取扱説明書通りに排水方向より排水する (13 ページ参照)

●排水方向を誤ると、本体内部に水が入り、火災・感電・ショートの原因になります。

給水・排水は、必ず電源プラグを抜き、本体が冷めた状態でおこなう

●やけどの原因になります。

フタは確実に閉める

●沸騰したお湯が飛びちり、やけどの原因になります。

●フタが確実に閉まっていないと、転倒時にフタが開き熱湯が流れ出すため危険です。



包装用ポリ袋は、お子様の手の届かない場所に保管してください。誤って顔にかぶさったり、巻き付いたりして窒息し、死亡の原因になります。

⚠ 注意



禁止

MAXライン以上水を入れない

- 吹きこぼれてやけどの原因になります。

凍結させない

- 凍結は本体破損の原因になります。
- ※凍結のおそれがある場合は、水タンク内の水を捨てて空にしてください。

本体の上に物を載せたり、本体をおおったりしない

- やけど・誤作動・故障の原因になります。

落下させて強い衝撃を与えない

- 破損して、動作不良・故障の原因になります。

付属の電源コード以外は使用しない

- 故障・火災の原因になります。
- 電源コードは本製品専用です。



必ず守る

移動やお手入れは電源を切り、内部が冷えてからおこなう

- 本体内の水は加熱されているので、やけどやけがのおそれがあります。
- 十分に冷えるまで本体や内部に触れないでください。

使用後は必ずお手入れをして、水タンクを空にする

(お手入れのしかた：14ページ参照)

- 内部の汚れによる動作不良を起こす原因になります。

しばらく使用しない場合は、水タンクを空にし、本体と水タンクを ていねいにお手入れし、十分乾燥させる

- 表面や内部がぬれていると、カビや細菌の繁殖、異臭などの原因になります。

本品を乾燥させる場合は、直接日光に当てず、陰干しでおこなう

- 変色・変形の原因になります。(お手入れのしかた：14ページ参照)

設置場所の注意事項を参照して設置する (7ページ参照)

- 電波障害や周辺の内装品に損害が出るおそれがあります。

水タンクには水道水を使用してください。

●以下の物を水タンクに入れないでください。

アルカリイオン水・ミネラルウォーター・井戸水・抗菌処理をしていない水・汚れた水・アロマオイル・芳香剤・化学薬品・洗剤・次亜塩素酸ナトリウム・水以外のもの →故障の原因になります。

ご使用にあたっての注意とお願い ①



禁止

- 水道水以外のものを、水タンクに入れないでください。
破損・誤作動・故障の原因になります。
アロマオイルや除菌剤なども故障の原因になります。
- 蒸気口カバーをはずしたまま運転しないでください。
やけど・故障の原因になります。
- 水タンクに水が入っていない状態で運転しないでください。
故障・火災の原因になります。
- 水タンク内の「MAXライン」を守って
ライン以上には給水しないでください。
(10 ページ参照)
- 本体に水をかけたり、水に浸けたり、
丸洗いは絶対にしないでください。
内部に水が入り、故障の原因になります。



必ず守る

- 給水する時は本体が冷めてからおこなってください。
やけどの原因になります。
- こまめにお手入れをしてください。
(お手入れのしかた：14.15.16 ページ参照)

水タンク内の水は清潔な状態を保つために、使用時は毎日新しい水と入れ替えてください。長期間水を入れっぱなしにしていたり、洗浄を行わない場合、内部の汚れによる動作不良を起こしたり、雑菌などの繁殖により健康を害するおそれがあります。

※堆積物が多量に付着すると故障の原因になります。

※取れない汚れ、カルキやミネラル成分は、綿棒やつまようじなどを使って落としてください。



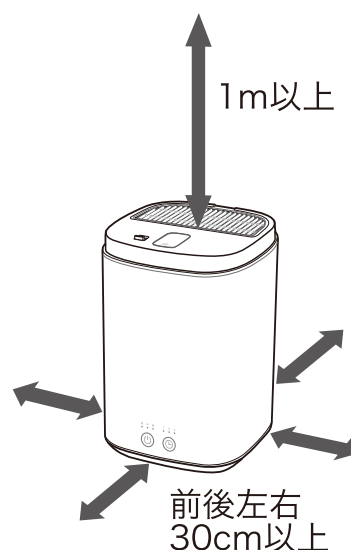
注意

本体内部のお手入れに塩素系・酸性タイプ・酵素タイプの洗剤は使用しないでください。
故障・吹きこぼれ・においの原因になります。

ご使用にあたっての注意とお願い ②

設置場所について

- 水平で平らな安定した場所で使用してください。
- 蒸気口から出る蒸気をさえぎる物のない場所に設置してください。
- 暖房機・テレビ・ホットカーペットなど電気製品の上で使用しないでください。
倒れて水がこぼれ、火災や電気製品の故障の原因になります。
- 壁や家具・カーテン・天井・衣類の近くに設置しないでください。
壁や窓から必ず 1m 以上離して使用してください。
カビ・シミ・変色・変形のおそれがあります。
- 蒸気が直接あたる場所に電気製品、時計、パソコン等の精密機器を置かないでください。
湿気によって故障や誤作動の原因になります。
- テレビやラジオ・ビデオ・エアコン・コードレス電話などの機器から 1m 以上離してください。
テレビ画面のチラつきや、雑音が入るなどの電波障害が起こる場合があります。
- 次のような場所では使用しないでください。
 - ・テーブルクロスなど耐熱性の低いものの上
 - ・高いところ
 - ・湿度の高い場所
 - ・本体が倒れた時に、他の電気製品へ水がかかるような場所



！ 必ずお守りください

◎人がよく通る所には設置しない

本体にぶつかったり、コードに足を引っ掛けたりして加湿器を倒し、やけど・故障の原因になります。

◎小さなお子様やペットに注意する

お子様やペットが誤って本製品を転倒させないように十分ご注意ください。

◎カーペットやふとんの上など、傾斜があって不安定な場所では使用しない

本体が転倒して水が漏れ、周辺の内装品に損害が出る原因になります。

◎直射日光の当たる所や、暖房器具の近くなど、高温になる所には設置しない

変形・故障の原因になります。

使用時に起こる現象 ※これらの現象は故障ではありません

床・壁の結露について

- 湿度が 60%以上のときは、すでにお部屋は十分加湿されており、さらに加湿しようとする、床や壁、家具などが湿ってくることがあります。

快適なお部屋の湿度は 40～50%とされています。過剰加湿や加湿不足を防ぐため、湿度計を併用することをおすすめします。
※お部屋の湿度が 60%を超えると、窓などに結露が起こり、雑菌・カビが繁殖しやすくなります。

においについて

- 地域やマンションの水道水的环境により、若干においがする場合があります。
- お手入れを怠ると、雑菌やカビが繁殖して異臭を放つことがあります。
悪臭の発生を防ぐよう、使用時は毎日必ずお手入れをおこなってください。

水タンクの汚れについて

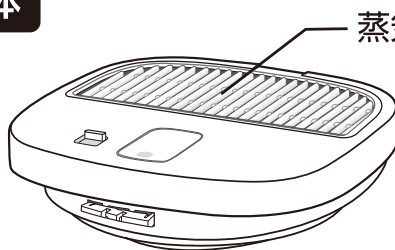
- 本製品をお手入れせずに使い続けていると、本体水タンクに汚れや白い粉が溜まります。

水道水に含まれるミネラル成分などが固着したもので、製品の異常ではありません。加湿性能の低下、故障の原因になりますので、こまめにお手入れをしてください。

各部名称

■ 本体

■ フタ

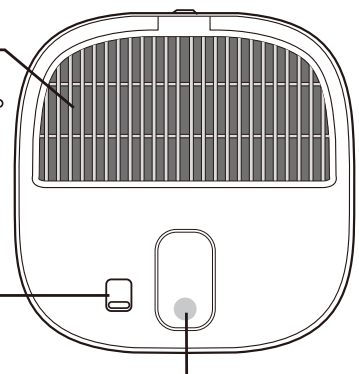


蒸気口カバー

蒸気口

※ここから蒸気が出ます。

高温注意

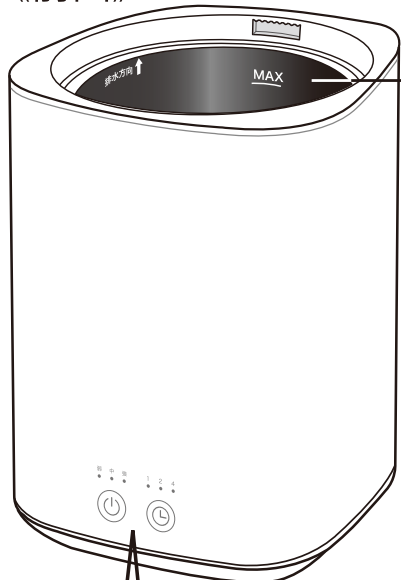


チャイルドロック

フタ着脱つまみ

フタの外し方:11 ページ参照

■ 本体《前面》



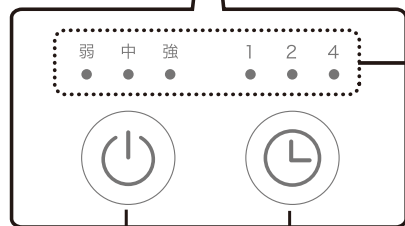
水タンク

高温注意



操作部

各ランプは選択中に
青色で点灯します。



切タイマーボタン(青点灯→タイマー設定時)
1H.2H.4H の切タイマー設定をおこないます。

電源 / 切替ボタン

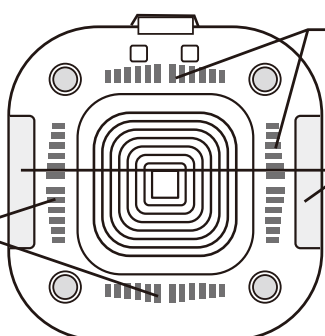
電源入 / 切と加湿量の切替をおこないます。

- 青点灯→電源入
- 赤点灯→水タンクの水がなくなり運転停止

■ 本体底

通気口を塞が
ないでください。

通気口



通気口

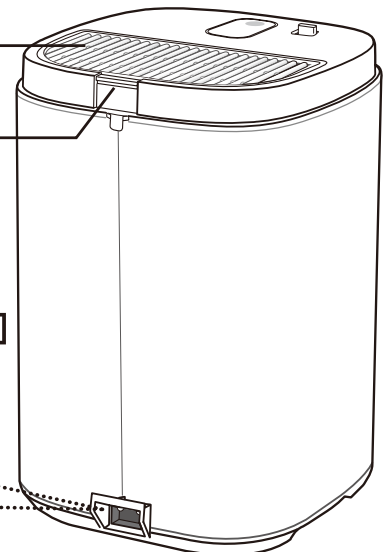
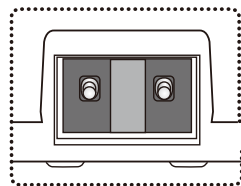
取っ手

■ 本体《背面》

蒸気口カバー

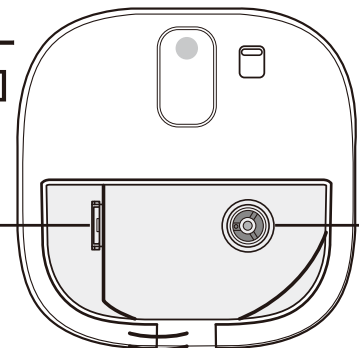
蒸気口カバー
着脱つまみ
詳細 15 ページ

[マグネットプラグ差込口]



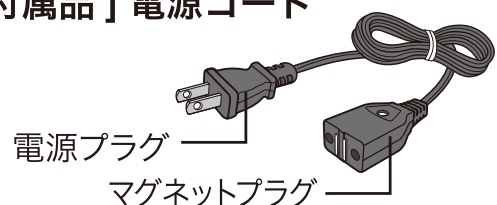
[蒸気口カバー
取り外し後]

蒸気吹出口



バルブ

[付属品] 電源コード

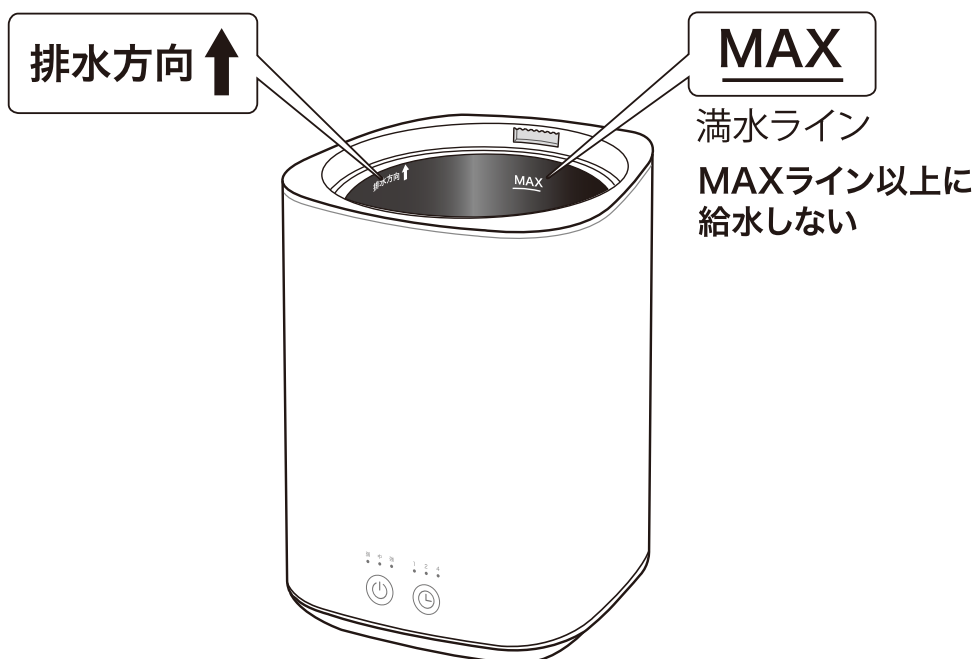


電源プラグ

マグネットプラグ

水タンク内側の印字について

- 満水ライン(MAX)と排水方向は水タンク内上部に印字されています。
給水・排水時には必ず水タンク内の印字を確認しておこなってください。



■水タンクの水が空になった場合

電源 / 切替ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

※運転直後は、蒸気口カバー周辺やフタ・本体は高温になっています。

やけどのおそれがありますので、給水は必ず本体が冷めてからおこなってください。



必ず本体底の取っ手を持って移動する

→取っ手以外を持つと、手が滑って落下するおそれがあります。



使用中や使用後しばらくは本体を持ち運ばない

→やけどの原因になります。



- カーペットやふとんの上などの不安定な場所や、傾斜がある場所では使用しないでください。本体が転倒して水が漏れ、周辺の内装品に損害が出る原因になります。

- 長時間同じ場所で使用すると、材質・塗料によっては変形・変色(シミなど)する場合があります。

使いかた（給水をする）

●必ず水道水を入れてください。



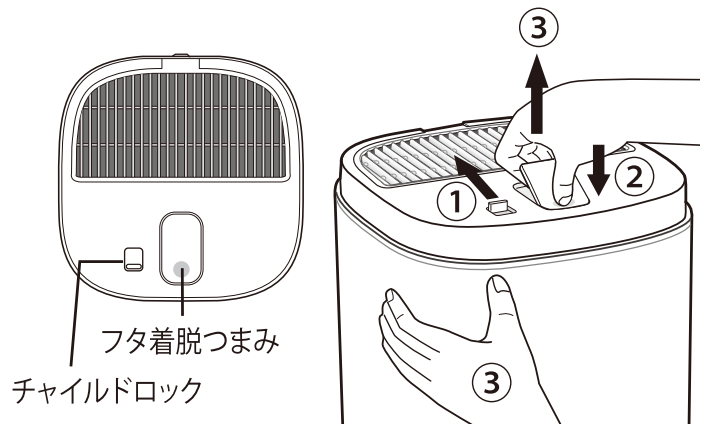
●以下の物を水タンクに入れないでください。

アルカリイオン水・ミネラルウォーター・井戸水・抗菌処理をしていない水・汚れた水・アロマオイル・芳香剤・化学薬品・洗剤・次亜塩素酸ナトリウム・水以外のもの →故障の原因になります。

水タンクに水道水を入れる

① 水タンクからフタを外す

- ①チャイルドロックの突起を矢印の方向に押してロックを解除します。
- ②フタ着脱つまみのくぼみを押して、つまみを起こします。
- ③本体を片手でしっかり押さえながら、フタ着脱つまみを持ってフタを引き上げ、本体から外します。



② やかんなどを利用して給水する

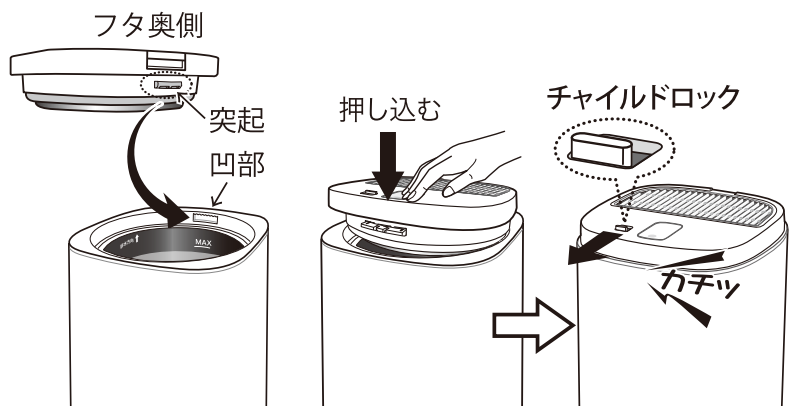
本体や操作部に水がかからないように注意して給水してください。
→本体内部に水が入り、故障の原因になります。



③ 水タンクにフタをする

- ①フタの奥側の突起を、本体背面内側の凹部に差し込みます。
- ②フタの前側を押し込み、「カチッ」と音がするまで閉めてください。
- ③チャイルドロックの突起を手前に引いてロックをかけます。

- ・カチッと音がするまでフタは確実に押し込んでください。
- ・フタを外した状態で運転をしないでください。



フタを閉めた後は、必ずチャイルドロックの突起が手前にあり確実にロックがかかっていることを確認してください。

使いかた（運転をする）



警告

- 絶対にフタを外したままや、フタがロックされていない状態で運転をしない
- やけどの原因になります。
 - ふたが確実に閉まっていないと、転倒時にふたが開き熱湯が流れ出し危険です。

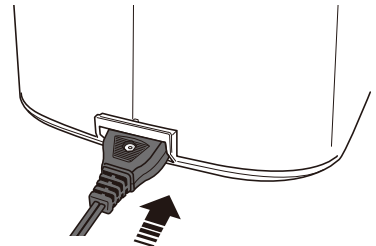
1. 付属の電源コードを接続する

付属の電源コード以外は使用しない

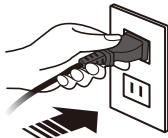
ぬれた手で電源プラグやマグネットプラグを持たない
→ショート・感電のおそれがあります。

- ① 付属のマグネットプラグを、本体背面のマグネットプラグ差込口に奥まで確実に差し込みます。

- マグネットプラグ差込口にゴミやほこりがついていないことを確認してください。
- 電源コードは束ねたまま使用しないでください。

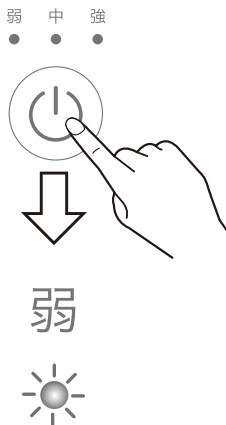


- ② 電源プラグをコンセントに確実に差し込みます。



- 使用中や使用直後は、蒸気口に手や顔を近づけない。
- 使用中や使用後しばらくは、フタ着脱つまみ・チャイルドロックは高温になるので触らない。

2. 加湿する



電源 / 切替ボタンを押すと青く点灯します。
電源 / 切替ボタンを押すたびに、以下の順で加湿モードが切り替わります。

弱 → 中 → 強 → 運転停止

- ※選択中の加湿量のランプが青色に点灯します。
- ※運転停止はランプが消灯します。

【注】水タンクの水がなくなると電源 / 切替ボタンが赤く点灯して運転を停止します。

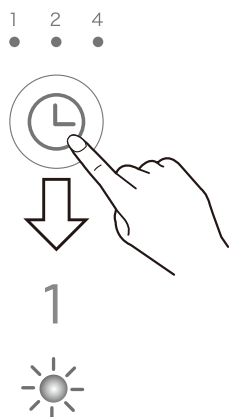
例：加湿量弱設定

- 本体が十分冷めてからフタを開けて、水タンクに給水してください。

■加湿までの時間説明

本製品は水タンク内の水が沸騰して加湿する構造のため、満水時では運転開始から加湿開始までに約30～40分程度の時間がかかります。
沸騰までの時間を短縮するため、水温が一定温度に達するまで加熱を強めて運転します。
沸騰近くになると、設定した加湿量のモードに切り替わります。

3. 切タイマー運転をする



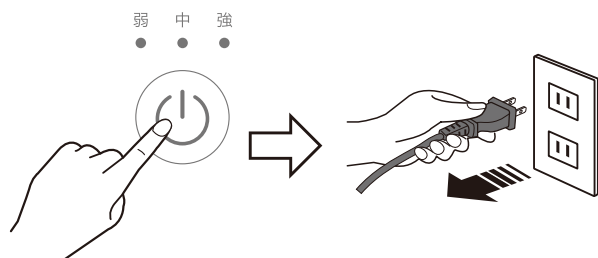
例：1 時間設定

運転中に切タイマーボタンを押すと青く点灯し、切タイマーを設定できます。
切タイマーボタンを押すたびに、以下の順で設定時間が切り替わります。

1 時間 → 2 時間 → 4 時間 → タイマー解除

※選択した設定時間のランプが青色に点灯します。
※タイマー解除はランプが消灯します。

4. 運転を終了する



① 電源 / 切替ボタンを押します。

加湿ランプが消灯して、運転が停止するまで電源 / 切替ボタンを押してください。

② 電源プラグをコンセントから抜きます。

必ず電源が切れていることを確認してから、電源プラグを抜いてください。

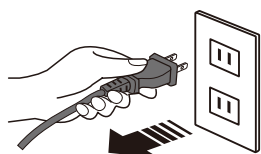


必ず守る

使用しないときはコンセントから電源プラグを抜く

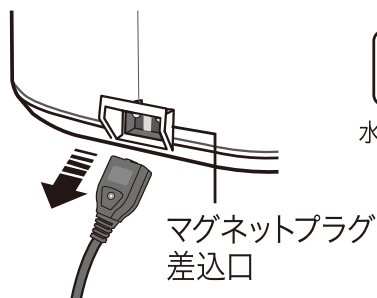
→感電や火災の原因になります。

水タンクの残り湯を捨てる



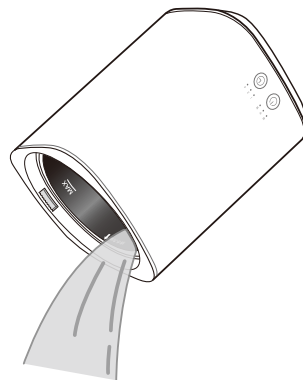
必ず、コンセントと本体から電源プラグやマグネットプラグを抜いてからおこなってください。

ぬれた手で電源プラグやマグネットプラグの抜き差しをしたりしない →感電・けがのおそれがあります。



水タンク内側に印字

操作部



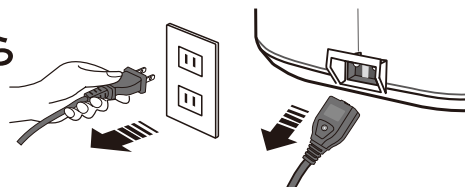
排水は本体が冷めてから排水方向を守っておこなう
●やけどの原因になります。



マグネットプラグ差込口や操作部をぬらさない
●故障の原因になります。

お手入れのしかた

- 必ずコンセントから電源プラグを抜き、本体からマグネットプラグを抜いて本体が完全に冷めてからおこなってください。



注意

- 本体に水をかけたり、水に浸けたり、水洗いは絶対にしない
→内部に水が入り、故障の原因になります。
- 洗剤・クレンザー・漂白剤・シンナー・ベンジン・アルコール・アルカリ洗剤・化学ぞうきん・金属たわし・硬いたわしなどは使わない
→変形・変色・傷の原因になります。
- 食器洗浄機で洗ったり、食器乾燥機での乾燥はしない
→変色・故障の原因になります。

本体

水洗いできません。

- よく絞った柔らかい布で拭いてください。

汚れが気になる場合は、薄めた台所用洗剤を布に含ませ、固くしぼって拭いてください。



水タンク

- ご使用のたびに、水タンクに残っている水をすべて捨てて水タンクの内側(特に底部分)を軽く拭くことをおすすめします。

【注】必ず13ページの「水タンクの排水方向」を守って排水し、操作部やマグネットプラグ差込口をぬらさないようにしてください。

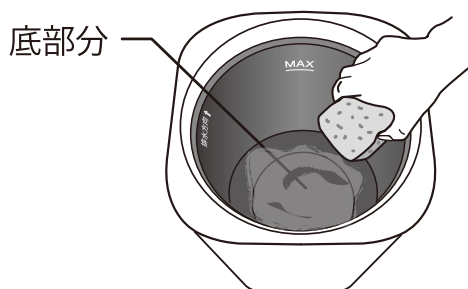
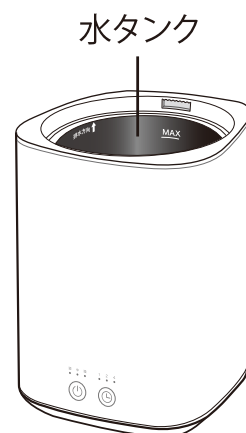
お使いの水道水のミネラル成分や、ご使用頻度によって付着の度合は異なりますが、お手入れを怠ると、カルキやミネラル成分などがこびりついて落ちにくくなります。

- 拭いても白い付着物などの汚れが取れない場合は、中性洗剤を含ませた柔らかいスポンジで洗い、水でよくすすいでください。

1～2カ月に1回程度、または汚れが取れにくい場合は、クエン酸洗浄をおこなってください。

■クエン酸洗浄のしかた:16ページ参照

操作部やマグネットプラグ差込口に水がかからないように注意して洗ってください。
→本体内部に水が入り、故障の原因になります。



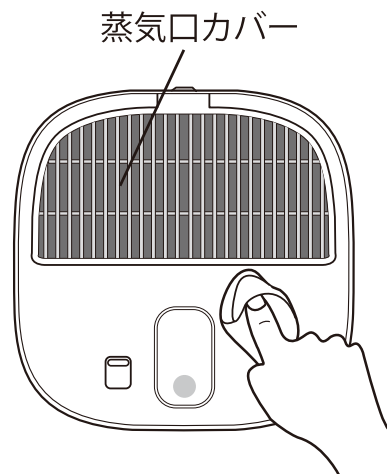
フタ

水洗いできません。

11 ページを参照して本体からフタを外します。

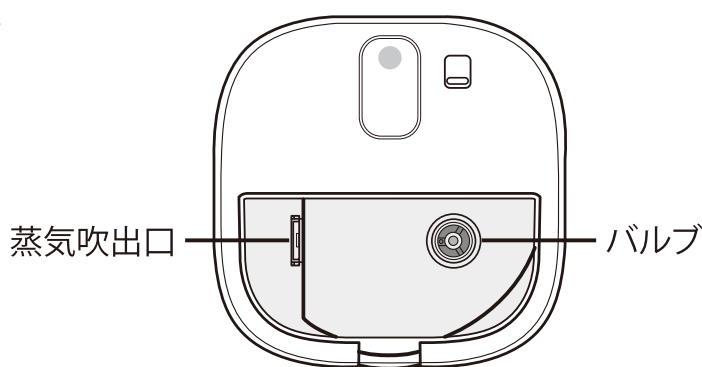
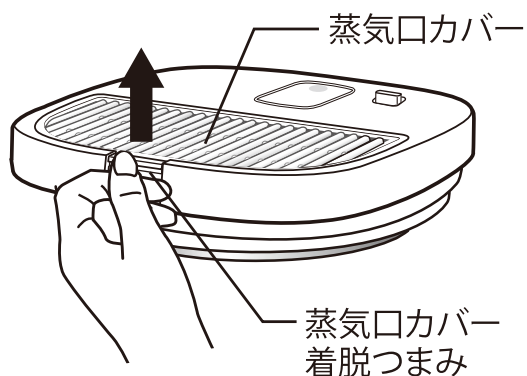
- 蒸気口カバーの周辺を乾いた柔らかい布で拭きます。白い付着物などが付いた場合は、早めに拭き取ってください。放置すると固着して落ちなくなります。

蒸気の出が悪くなってきたら、下図を参考にして蒸気口カバーを外し、蒸気吹出口の溝が塞がっていないか点検してください。塞がっている場合は、つまようじなどの先の細いものを使って取り除いてください。



- 蒸気口カバー着脱つまみを上に持ち上げて外し、蒸気口カバーや内側の蒸気吹出口とバルブに付着した汚れなどを乾いた柔らかい布で拭きとります。

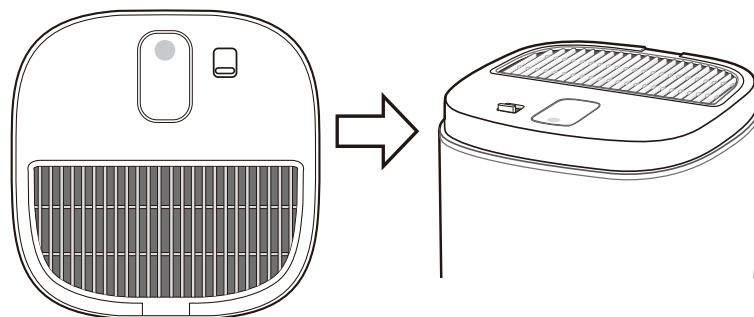
汚れが取れない場合は、薄めた台所用中性洗剤を含ませて固く絞った布で、やさしく拭き取ってください。



- お手入れ後は必ず蒸気口カバーを元に戻し、11 ページを参照して水タンクにフタを装着します。

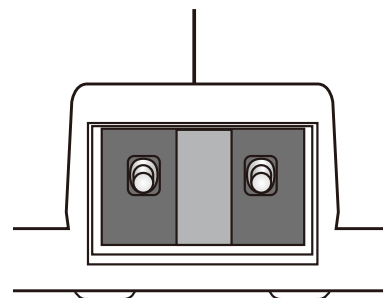
警告

蒸気口カバーを外した状態で運転をしない
→ やけどのおそれがあります。



マグネットプラグ差込口 水洗いできません。

- 乾いた柔らかい布で汚れを拭き取ります。ホコリなどの汚れが付いたまま使用すると発熱・発火のおそれがあります。



電源コード 水洗いできません。

- ゴミやほこりは定期的に乾いた布で拭き取ります。

【注】 電源コードをきつく束ねたり、無理に曲げたりしないでください。



定期的なお手入れ

- 定期的に本体底面を確認し、通気口にほこりやゴミなどがついていれば取り除いてください。

■クエン酸洗浄のしかた

水タンクのクエン酸洗浄は、1～2カ月に1回程度、または汚れが目立つ場合に、おこなってください。

- ① コップにクエン酸50gを入れて、ぬるま湯で溶かす。
- ② 溶かしたクエン酸を水タンクに入れ、MAXラインまで水を入れる。
- ③ フタを閉め、約30分加湿した後に電源を切り、約2時間放置する。
- ④ 本体が冷めてから、お湯を捨てて水タンクをスポンジで洗い、水でよくすすぐ。

汚れが落ちにくい場合は、繰り返しクエン酸洗浄をしてください。

故障かな？と思ったら

●修理を依頼される前に、再度取扱説明書をお読みになり次の事項をチェックしてください。



警告

お客様ご自身で修理、改造することは絶対にしないでください。

こんなとき	お調べいただくこと／なおしかた
電源が入らない	●電源プラグがコンセントに差し込まれていますか？ →電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。 ●マグネットプラグが確実に差し込まれていますか？ →マグネットプラグを一旦外し、再度確実に差し込んでください。
蒸気が出ない または出が悪い	●水が沸騰した後に加湿を開始します。 →満水時は運転開始から加湿開始までに約 30~40 分かかります。 お急ぎの場合は、ぬるま湯を入れてください。 ●水タンクの水が無くなっていませんか？(電源/切替ボタン赤点灯) →水タンクに給水してください。(11 ページ参照) ●蒸気吹出口が目詰まりしていませんか？ →蒸気口カバーを外して、目詰まりしていないか確認してください。 お手入れは 15 ページを参考におこなってください。
水タンク内に乳白色の のザラザラしたものや、 さびのような斑点がつく	●水のミネラル成分によるものです。 →お手入れしてください。(14 ページ参照)
においがする	●水道水以外のものを入れていませんか？ →水道水を入れてください。 ●水タンクが汚れていませんか？ →お手入れしてください。(14 ページ参照) ●水が古くなっていませんか？ →新しい水に入れ換えてください。 ●ご使用開始後しばらくはにおいを感じる場合があります。 ご使用を続けることで、においは次第に少なくなります。
床面が結露する	●湿度が高すぎませんか？(8ページ参照)
ポコポコと 音がする	●フタが汚れていませんか？ →フタのお手入れしてください。(15 ページ参照) ●本製品は水を沸騰させて加湿するため、運転中にポコポコと音がすることがありますが、異常ではありません。
水タンク内の水が なくなっても運転が 停止しない	●水タンク底部に汚れやミネラル分が付着していませんか？ →水タンクのお手入れをしてください。(14 ページ参照)

製品仕様

品 名	スチーム式加湿器
本 体 サ イ ズ	約 201 (W)×308 (H)×203 (D)mm
本 体 質 量	約 2.3kg
水タンク容量	約 3.0L
電 源 コ ー ド	約 1.5m
電 源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	650W
最大加湿量	約 600ml/h ※強運転時
連続加湿時間	最大約15時間 ※弱運転時
適用床面積 (強運転時)	木 造 和 室：～約 10 畳 プレハブ洋室：～約 17 畳
安 全 装 置	サーモスタット、温度ヒューズ、電流ヒューズ
材 質	本体:鉄、PP 水タンク:ステンレス

※加湿量・連続加湿時間は、室温 25℃、湿度 50%の場合です。

※室内の温度、湿度環境により、加湿量は異なります。

※連続加湿時間・適用床面積は、実際の使用環境・使用状況により異なります。

保管のしかた

- 水タンク内の水をすべて捨て、水気や汚れをしっかりと拭き取り、十分に乾燥させて袋などに入れ、立てて保管してください。
- ※表面や内部がぬれていると、カビや細菌の繁殖、異臭などの原因になります。
- ※旅行などで数日間使用しない場合も、水タンク内の水をすべて捨ててください。
- 振動のある場所や冷暖房機のそばは、避けてください。
- 直射日光の当たらない、高温多湿を避けた結露しない場所で保管してください。
- 子どもや幼児の手の届かない所で保管してください。

廃棄のしかた

- 自治体のゴミの廃棄方法に従って廃棄してください。

保証書

本書は、本書記載内容（無料修理規定に基づく）で無料修理をおこなうことをお約束するものです。お買い上げの日より下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえお買い上げの販売店または下記お客様ご相談窓口にお問い合わせください。

品名	スチーム式加湿器	品番	BIM-SHM60A(W)
※お買い上げ日		保証期間	本体 お買い上げ日より1年
お客様	お名前	様	
	ご住所 〒		
	お電話		
販売店	住所・店名		
	電話 ()		

販売店様へ※印欄はお買い上げ日を必ずご記入のうえお渡しください。（販売店印がない場合は、領収書またはレシートを貼ってください。）

保証規約

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従って正常な使用状態で故障した場合には、製品と本書をご持参ご提示のうえお買い上げの販売店まで修理をご依頼ください。
- 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、製品と本書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げ販売店にご依頼ができない場合は、下記お客様ご相談窓口までお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合には有料となります。
 - 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障や損傷。
 - お買い上げ後の落下などによる故障および損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷その他天災地変や異常電圧による故障および損傷。
 - 一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）やポータブルバッテリーなどで使用された場合の故障および損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 正規販売店以外（オークションや中古販売品、個人売買品、未開封の二次販売など）での購入の場合。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または下記お客様ご相談窓口にお問い合わせください。

※この製品のスペアパーツをお客様にお届けできる期間は、製造終了後3年間までです。（流通在庫の関係で期間内でもお届けできない場合があります。）

【輸入元】 株式会社 丸隆

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚 1-62-3

お客様ご相談窓口 お問い合わせ先 TEL 0120-104-300
受付時間 月～金曜日（土日・祝日を除く）10：00～17：00
ホームページ <https://www.marutakaltd.com/>

お問い合わせの際には、製品名・品番をお伝えください。